



第35号 平成24年9月

夏の暑さも和らぎ、秋風を感じる日が多くなってきたように感じられます。

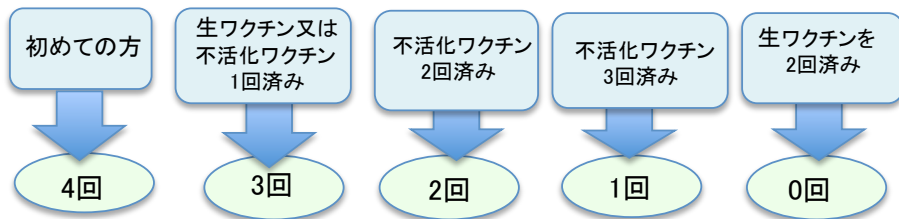
気温の変化が不安定ですので、体調管理には気をつけて下さいね。



不活化ポリオワクチンについて

もともとポリオ(小児麻痺)は、エボラ出血熱と同じレベルの第一種の伝染病です。昭和35年には、大流行があり、年間5600人の患者が発生しました。ウィルスの毒性を弱めた生ワクチンの普及で3年後には、100人を下回り、昭和55年以後、国内の野生ポリオは発生しなくなりました。その一方で、生ポリオワクチンの接種により、本人や周りの人がポリオを発生する被害がありました。しかし、世界では野生株が存在しています。流入をブロックするためには、常に小児全員の抗体価を95%以上に保つ必要があります。そのため、接種を中断するわけにはいきませんでした。諸外国では、麻痺の危険性のない不活化ワクチンに切り替えるなか、日本も10年以上かかってつい9月1日に不活化ポリオワクチンが開始になりました。生ワクチンと違って、麻痺の危険性のない反面、2回経口接種から、4回注射接種になります。

<<接種回数>>各自、接種回数は異なります。



♪マナンドコにおいで♪

8月28日(火)のマナンドコはあいにくの天気の中、6名のお友達が参加してくださいました。日中はまだ夏の暑さが続きますが、朝夕の空気に秋の気配を感じます。そこでマナンドコでは季節を先取りし、秋のくだもの「ぶどう」の製作をしました。丸型のスタンプにインクをつけてぶどうの形の画用紙にポンッと押し、丸い実がどんどん実っていく、おいしそうなぶどうができました。くだもの手遊び歌では、保育士のエプロンのポケットから出て来た黄色のペーパーが、歌に合わせてバナナに変身！口元に近づけるとモグモグするMちゃんのしぐさがとてもかわいらしく、お部屋でも笑いに包まれました。育児カウンセラーを交えてのおしゃべりタイムでは、育児中の気になる事、我が家の解決策等をお母様同士が自由にお話しされています。初めてのご参加も大歓迎です。マナンドコに一度あそびにいらしゃいませんか？

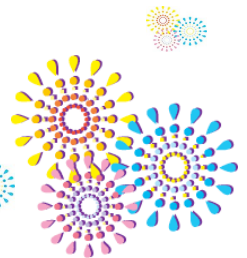
☆みんなでお空を見上げてみよう！☆

秋の夜空に輝くお月様を楽しむ習慣は中国から伝来したならわしです。日本では、旧暦の8月15日の夜(新暦9月中旬～10月上旬)を十五夜と呼び、その年のお米で作る団子をお供え物にして来年の収穫を祈ります。イモ類をお供えするので「芋名月」とも言うそうです。お供えするものには食べ物の他にススキもあり、稲穂に似ていたため一緒にそなえることになったといわれています。家の軒につるすと病気をしないという言い伝えもあるそうですよ。お月様が一番きれいに見えるお空をみんなで眺めてみてはいかがでしょうか？★白玉粉とかぼちゃを混ぜるとお月様のような綺麗な黄色の白玉団子が作れます。お子さんと一緒にお月見にお供えをする団子を作られてみてくださいね。
★2012年の中秋名月は9月30日です。



『一生忘れられない花火大会』

9/1の夜、香椎浜で花火大会がありました。子供の友達家族にお世話になり地元の人達しか知らないという穴場スポットで花火見学をしました。海岸に降りて波音を聞き夜景の美しさをまじかでみれ大迫力の花火に酔いしれていました。フィナーレの花火に大拍手した後、元来た道を帰ろうとたどっていくと潮が満ちて来ており道が水没していました。地元の人もこんなに水が上がってくることはないと言っていました、海の中を歩くかガケをよじ登るかの二者択一をせまられて、私はガケを登ることに決めました。なんとサバイル！！私は、木の枝をかきわけ草を引っ張り体をもちあげてガードレールにしがみつこうとした時、中学生の男の子が自分の簡易なイスを差し出してくれたつかまらせひっぱりあげてくれたのです。その子は、あがってくる人みんなを手助けしてあげていました。最後の人が登りあがった時に拍手がどこからともなくおこりました。感動的でした。美しい花火をこんなあたたかい人達と一緒にみれたことに心揺さぶられ、一生忘れられない花火大会になりました。楽しい夏の思い出のページができたのも子供の友達家族に感謝です。



♡♡ 新人で～す ♡♡

初めまして、新しく受付に入ることになりました宇佐見です。まだ、不慣れな面もありますが精一杯頑張っていきますのでよろしく願い致します。

